

より近く より深く より前へ

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2017
January

No. 178

1



 JA全農ぐんま

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。



事業のうごき 1

JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践支援
- 営農指導機能強化支援
- 農業経営管理支援
- 法人等担い手支援
- 出向く営農支援体制の強化と活動支援
- JA-TACの人材育成
- JAの野菜振興取組支援
- 農産物の安全・安心対策

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにやく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)
- 菌茸類種駒・種菌予約推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計下仁田ねぎ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月中旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)

販売促進課

- 秋冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 春用出荷資材予約推進
(ほうれん草・きゅうり・ふき他)

- 平成29年産青果物段ボール予約推進
- 温床資材予約推進(農ビ・ポリマルチ他)
- 春まき用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)
- 種馬铃薯納品

生産資材部

- 売出し・フェアの実施
 - ☆花木流通センター
 - 1月28日(土) 特選洋蘭フェア
 - 1月11・18・25日(水) 水曜お米特売日
 - 1月21日(土) 午前市
 - ☆愛菜館
 - 1月8(日)・18(水)・28(土) 8の日お米特売
 - 1月11・18・25日(水) 水曜肉の特売日
 - 1月21日(土) 午前市
- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 蒟蒻肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 果樹農薬推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)
- 蔵出しいよかん・せとか推進 (1月～2月)

葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進 (周年)
- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

新年のご挨拶

新春のお慶びを 申し上げます



新年、明けましておめでとうございます。

J A全農ぐんまを代表いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、J Aグループの活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

農業を取り巻く情勢に目を向けますと、農協改革、環太平洋連携協定(TPP)問題、度重なる自然災害からの復旧・復興など、非常に多くの課題がございます。

特に、昨年は農協改革の議論が政府を中心に展開され、農業やJ Aグループに対してさまざまな意見をいただきました。より良い組織になるために、いただいた意見はしっかりと受け止めたいと思います。

しかし、私たち協同組合は自主・自立の組織であり、「自分たちの組織は自分たちで改革していく」というのが基本です。J Aグループ群馬では、2015年の11月、「J A群馬県大会」を開き、本年度から3カ年の基本方針を決定しました。この大会では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」

の三つを基本目標に掲げ、「組合員が実感できる自己改革の実践」に取り組んでいくことを決議しています。自己改革の2年目にあたる本年は、昨年以上に取り組みを強化してまいり所存でございます。

群馬県は首都圏に近く、長い日照時間と標高差を活かし、多種多様な農畜産物を生産しております。平成27年の農業生産額は約2,550億円で、平成9年以来18年ぶりに2,500億円を上回りました。部門別の構成では、野菜と畜産で総産出額の8割を占める農業県です。

このような中、J A全農ぐんまでは、青果物一次加工センターや園芸作物生産実証農場、育成牛センターの新設などにより、前述の基本目標の達成に向けて取り組んでいます。今後も、J Aや関係機関と協働し、消費者・県民が求める新鮮で安全・安心な県産農畜産物を将来に渡し、安定的に食卓へお届けするとともに、生産から販売までのトータルコスト低減を積極的に進めてまいります。

本年も「生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋」として、農家の方や地域の皆様のお役に立てる組織であり続けられるよう、努力してまいりますので、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



全国農業協同組合連合会 群馬県本部
運営委員会会長 **大澤 憲一**



第2回 JA グループ野菜生産対策会議
(12.2 JAビル)



農産物の安全・安心対策担当者会議
(12.2 JAビル)

■ 野菜生産振興へ対策を協議

12月2日(金)、JA群馬担い手サポートセンター主催の「第2回 JA グループ野菜生産対策会議」が開催され、県内JA・県・当県本部の担当者35名が出席しました。会議では、野菜振興計画取組実績の報告や各JAによる振興具体策・加工業務用野菜の取り組み状況の発表などが行われ、担当者間での情報共有が図られました。また、11月に竣工した園芸作物生産実証農場の概要紹介も行われました。

■ 食の安全・安心対策を強化

12月2日(金)、JA群馬担い手サポートセンター主催の「農産物の安全・安心対策担当者会議」が開催され、14JA・県・当県本部の担当者約30名が出席しました。会議では、トレサビ(生産履歴記帳支援)システムの稼働状況やGAP(農業生産工程管理)手法の普及推進についての説明が行われたほか、各JAによるGAP導入定着に向けた取り組み状況の報告なども行われ、成果や改善点を確認しました。



規制改革推進会議の動きに対する緊急集会
(12.7 JAビル)



JA佐波伊勢崎・コープぐんま産地交流会
(12.10 JA佐波伊勢崎さかい地区)

■ 自己改革の加速化を確認

12月7日(水)、JAグループ群馬は、政府の規制改革推進会議農業ワーキング・グループが出した意見を受け緊急集会を開き、県選出国会議員や生産者、JA・各連合会の代表者ら約450名が参加しました。参加者からは、一連の動きに対して「不当な介入であり、到底容認できない。」といった異論が相次ぎました。集会では、農業者利益の実現に向け、自己改革をさらに加速化するなどとした特別決議が採択されました。

■ 親子で楽しむ収穫体験

12月10日(土)、当県本部は、コープぐんま・JA佐波伊勢崎・JA全農青果センターとの共催でコープぐんまの組合員を対象とした「JA佐波伊勢崎・コープぐんま産地交流会」を開催しました。当日は52名の親子が参加し、生産者による指導のもとブロッコリーの収穫に挑戦しました。また、ちぢみほうれん草とブロッコリーを使った料理が振る舞われたほか、食育ソムリエによる講義や勉強会、クイズ大会なども行われ、楽しみながら農業についての理解を深めました。



J A アシストホールたかさき寄せ植え講習会
(12.20 J A アシストホールたかさき)



ちびっこ餅つき大会
(12.29 花木流通センター)

■出来栄に満足 寄せ植え作りに挑戦

12月20日(火)、J A アシストホールたかさきにおいて「寄せ植え講習会」が開催され、J A たかさき女性会やねりん倶楽部の会員133名が参加しました。今年は、ガーデンシクラメン・ミニ葉ボタン・梅などの6種類の花を使用。花木流通センターの職員の説明に続き、各自鮮やかなお正月用寄せ植えを作成しました。完成した作品を前に、参加者からは「きれいになった。玄関に飾りたい。」と嬉しそうなお声があがりました。

■年末恒例！餅つき大会

12月29日(木)、花木流通センターの年末恒例のイベント「ちびっこ餅つき大会」が今年も開催され、約20名が参加しました。子供たちは、家族の声援を受けながら力いっぱい杵を振り、餅つきを楽しんでいました。また、当日はもちつき機でついたあつあつの餅が、きな粉や辛み餅として参加者に振る舞われ、おいしいと好評でした。子供たちのついたお餅は鏡餅にし、翌日来店したお客様先着100名に無料でプレゼントされました。



新年祝賀会
(1.4 J A ビル)



渋川家畜市場初市式
(1.13 渋川家畜市場)

■新たな決意で新年スタート

1月4日(水)、平成29年の仕事始めにあたり「新年祝賀会」が執り行われ、各連合会の役職員等約400名が出席しました。大澤会長は「今年は、自己改革の2年目に当たる年。農家組合員から信頼され、地域にも必要とされるJ A グループを目指す。」と挨拶し、一致団結して挑む決意を新たにしました。また、県選出国會議員も一堂に会し、さらなる農業振興へ向けた抱負を語りました。

■市場の盛況を祈願

1月13日(金)、平成29年の初せりにあたり「渋川家畜市場初市式」が開催されました。式典では、当県本部畜産農産部の中里部長と県農政部畜産課の小茂田課長が代表して挨拶し、日頃の感謝と新年の抱負を述べました。また、群馬県J A 繁殖和牛部連絡協議会の八木原会長による景気づけも行われ、今年1年の活気ある取引と畜産振興を祈願しました。当日は、去勢・雌の最初の1頭目の購買者に水芭蕉大吟醸酒がお年賀として贈呈されました。

実証農場でキュウリ苗定植



12月26日(月)、園芸作物生産実証農場で初めてキュウリ苗の定植が行われました。当日は、JA群馬担い手サポートセンターや関連会社などから約20名が参加しました。用意した品種は、多収性の「極光607」と作業性に優れ、食味も良好な「グラッチェ2号」の2種類。20aの硬質フィルム温室に各種1000本ずつ、計2000本を定植しました。現在農場では、複合環境制御システムにより、光合成促進や温湿度管理、地温確保などの個別技術を組み合わせた栽培を行っており、2月からの収穫を予定しています。

「上州牛」銘柄確立へ向け 高品質な枝肉が競い合う

牛肉消費の最需要期となる12月、安全性と品質の高い牛肉を展示・PRすることにより、県産牛肉の知名度を高め、畜産経営の活性化を図ることを目的に、各団体の共進会が(株)群馬県食肉卸売市場を会場に開催されました。各共進会とも優秀な枝肉が多数出品され、生産者の飼養管理技術の高さがうかがえました。最優秀賞を受賞した方々をご紹介します。



セリの様子

●第24回ぐんまふれあいミートフェスタ 群馬県枝肉共進会(肉牛の部) (12月5日(月))

(主催：群馬県食肉品質向上対策協議会)
「和牛の部」(株)加藤牧場
(JAにったみどり)
「交雑種の部」阿久澤 和明(JA前橋市)



▲名誉賞を受賞した
加藤さん(左)と阿久澤さん(右)

●第55回上州牛枝肉展示会 (12月12日(月))

(主催：(株)群馬県食肉卸売市場)
「黒毛和種の部」(株)加藤牧場
(JAにったみどり)
「交雑種の部」小川 浩伸
(JA碓氷安中)



▲挨拶する
(株)群馬県食肉卸売市場の萩原専務

●第22回肉牛枝肉共進会 (12月19日(月))

(主催：群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会)
「黒毛和種の部」(株)加藤ファーム
(JAにったみどり)
「交雑種の部」(株)深山牧場
(JA赤城たちばな)



▲最優秀賞を受賞した
加藤さん(左)と須田さん(右)

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

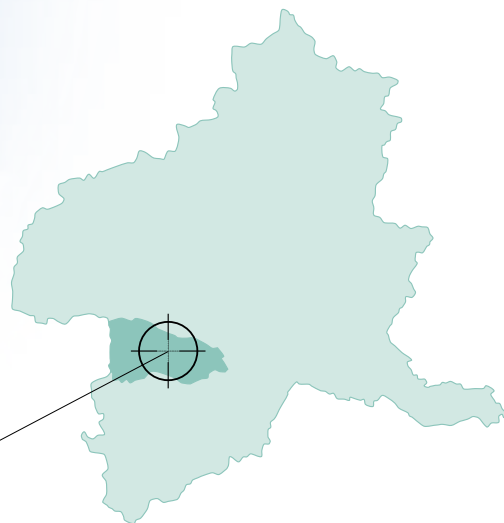
番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
高崎に新名物誕生!? 「Niwasaki café」／JAたかさき	1月30日(月)	PM9:00～9:30
	※2月5日(日)	AM8:00～8:30
ぼんぼこで一日店長!／JA邑楽館林	2月6日(月)	PM9:00～9:30
	※2月12日(日)	AM8:00～8:30



山部 朱里アナ

農業 チャレンジ

JA碓氷安中



妥協をせずにおいしさ追求

JA碓氷安中管内 上原 見徳さん



上原 見徳

(うえはら・みのり)さん

1971年生まれ、45歳。

栽培面積

こんにゃく……………250a

長ねぎ……………20a

上州ねぎ……………10a

趣味：日用大工

4児の父。

40歳から農業を志す

今回のチャレンジャーは、JA碓氷安中管内でご家族と共にこんにゃく・長ねぎ・上州ねぎを生産する上原さんです。製造業や林業の仕事に長年従事したのち、40歳の時に家業である農家を継ぐことを決意したそうです。「自分が就農した年からこんにゃくに加えて新たにねぎを作り始めました。幼い頃からこんにゃく栽培には触れていましたが、ねぎ栽培に関しては全くの初心者。JAの開催する講習会などに参加し、必死で技術を学びました。」と話します。全て自己責任で仕事のできる農業は、ご自身の性格に合っていたそうで、日々栽培技術の向上に意欲的に取り組んでいます。

きれいな仕事へのこだわり

上原さんのお宅では4月に上州ねぎの播種を行い、7月に定植、12月から1月にかけて出荷を行っています。「うちでは種まきから収穫までの間に3回土寄せをします。土寄せとは、ねぎの白い部分を作るために成長に応じて土を寄せて盛り上げていく作業で、最も技術を必要とする

工程です。いい加減な仕事はしたくないので、ただ土を盛るだけではなく、仕上がりの美しさにもこだわって行っています。」と上原さん。日頃からきれいな仕事をするをモットーに、畑や作業場も常に整った状態を保つよう心がけているそうです。きめ細やかな作業の積み重ねが、見た目にも美しく、高品質な作物を生み出しています。

地域の特産を県外へ

「上州ねぎの知名度を上げ、県内外の人にもっと広めたいです。」と話す上原さん。自慢のねぎは、JA碓氷安中管内の直売所「まゆっ娘」や都内のスーパーへも出荷し、販路を広げています。また、都内での販促イベントにも参加し、大消費地のお客さんに向けたPR活動も行っているそうです。

最後に今後の展望を伺うと、「規模の拡大や品目を増やすことはせず、今後もこんにゃくと上州ねぎに絞って、しっかり手をかけて栽培していきたいと思っています。」と話してくれました。おいしさと品質にこだわり、妥協を許さず熱心に取り組む姿に、今後ますますの活躍が期待されます。



2



3



4



1 地域の方からも好評だという上原さんの作る上州ねぎ。『おいしかったよ』という声が聞けると日頃の努力が報われます。」と話します。

2 JA碓氷安中管内で開発され、10年ほど前から栽培が始まった上州ねぎ。下仁田ねぎと長ねぎの交配種で、冬季限定で出荷されます。

3 出荷に向けて余分な葉と根を切り落とします。

4 おすすめの食べ方は「肉じゃが」だそうです。「とろっとした甘みが出ておいしいですよ。」と教えてくれました。



がんばってまーす!

INTERVIEW

JA前橋市
営農部 営農企画課

小川 直弥さん

Profile

おがわ・なおや (27歳)

趣味…………… バスケットボール
好きなマンガ…………… スラムダンク
好きな食べ物…………… 肉全般・チャーハン

●職場の後輩からみた小川さん

「わからないことは親切に教えてくれるので、いつも助かっています。普段は面白いですが、仕事とのメリハリがしっかりしていて頼れる先輩です!」

「若い力で地域農業を活気づけます!」

——現在、入組何年目ですか?

4年目です。入組してから3年間は、野菜集配センターで組合員さんの出荷した野菜を集荷し、市場ごとに分けるという業務を中心に行っていました。ここ営農企画課へは今年度から配属になりました。

——現在のお仕事内容を教えてください。

JA前橋市管内の若手農業者で結成された青年部の事務局として、部員の皆さんと一緒に地域農業の活性化や住民との交流を目的とした活動の企画・運営等を行っています。

——具体的にはどのようなイベントですか?

幼稚園児等を対象にした食農教育、県内外での農畜産物PRイベント、若手農業者との婚活イベントなどです。これらの活動が農業に関心を持ってもらうきっかけになればと思っています。

——様々な活動をされているんですね。

はい。分野が多岐に渡っているので、今年1年で知識の幅が広がりました。青年部の皆さんは、一人一人が明るくやる気に満ちた方ばかりなので、日々刺激をもらっています。

——どんな時にやりがいを感じますか?

青年部の役員さんと打ち合わせをし、時間をかけて準備してきたイベントが盛況のうちに終わると達成感があります。参加して頂いた方から「ありがとう。楽しかったよ。」と笑顔で言っていただくこともあるのでそんな時また、がんばろうという気持ちになります。

——休日はどのように過ごしていますか?

車で近隣の県に出かけることが多いですね。この間も急に『海が見たい』と思い、その日の午後のうちに新潟まで行って帰ってきました。

——趣味はバスケットボールと

のことです。

はい。小学生の頃から続けていて、今でも友人と結成した社会人チームで隔週でプレイしています。

——では、最後に今後の意気込みをお願いします。

青年部に限らず、後はより多くの組合員さんと関わりを持つ中でさらに知識や経験を増やし、様々な業務で活かしていきたいと思っています。

——小川さん、これからも魅力的な活動で、地域と農業を盛り上げていてください! ありがとうございます。



▲幼稚園児との餅つき体験の様子。(小川さんは写真右)

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は12月27日に11月の牛乳乳製品統計を公表した。11月生乳生産量は57万9,383tで前年に比べ1.5%減少した。

北海道は30万5,470t(前年同月比1.8%減)で生産量の全国シェアは52.7%となった。

都府県の生産量は27万3,913tとなり、前年同月比で1.3%減少した。

■販売及び乳製品情勢

11月の用途別処理量は、牛乳等向けが33万0,258t(前年同月比0.5%増)、乳製品向けが24万4,881t(〃4.1%減)となった。

飲用牛乳等生産量は29万1,913kl(〃1.0%増)で前月から0.1ポイント増加し、うち牛乳が25万6,430kl(〃1.6%増)であった。また、乳飲料は9万2,719kl(〃7.9%減)で前月から1.9ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳	全	630,407	653,358	626,316	631,311	610,433	585,529
生産量	群馬(委託実績)	18,310	18,703	17,604	17,590	17,121	16,449
	本会(委託実績)	5,911	5,883	5,426	5,373	5,204	5,091
用途別	飲用牛乳等向け	323,332	350,076	350,374	345,246	328,834	349,140
処理量	乳製品向け	302,614	298,934	271,712	281,816	277,349	232,045
	その他向け	4,461	4,348	4,230	4,249	4,250	4,344
前年対比	生乳生産量(全国)	100.9	100.7	100.3	100.4	100.3	98.8
	〃(群馬)	98.8	98.3	98.6	99.9	99.6	99.6
	〃(本会)	99.3	96.2	94.9	96.9	98.2	98.5
	飲用牛乳等向け	100.3	100.8	100.4	102.1	101.9	103.3
	乳製品向け	101.6	100.7	100.3	98.6	98.6	92.7
10月		11月	12月	1月	2月	3月	計
600,456		579,383					4,917,193
17,068		16,458					139,302
5,297		5,090					43,276
350,372		330,258					2,727,632
245,507		244,881					2,154,858
4,577		4,244					34,703
99.5		98.5					99.9
100.5		98.4					99.2
99.5		97.8					97.7
101.9		100.5					101.4
96.3		95.9					98.1

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(12月予想)：牛肉相場は、高値反動で弱含み

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,900円中心	・和牛去勢A3	2,400円中心	・交雑去勢B3	1,700円中心
・和牛去勢A4	2,650円中心	・和牛去勢A2	2,150円中心	・交雑去勢B2	1,450円中心
		・交雑去勢B5	2,000円中心	・乳牛去勢B2	1,000円中心
		・交雑去勢B4	1,850円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛	27年-28年	2,283	2,349	2,252	2,255	2,349	2,395	2,455	2,539	2,754	2,645	2,640	2,462
去勢	28年-29年	2,734	2,733	2,653	2,631	2,587	2,553	2,608	2,675	2,645			2,647
A4	前年格差	451	384	401	376	238	158	153	136	▲109			184
和牛	27年-28年	2,098	2,132	2,080	2,085	2,106	2,133	2,228	2,349	2,485	2,464	2,384	2,246
去勢	28年-29年	2,514	2,525	2,393	2,356	2,371	2,322	2,372	2,411	2,261			2,392
A3	前年格差	416	393	313	271	265	189	144	62	▲224			145
交雑	27年-28年	1,654	1,693	1,672	1,703	1,707	1,717	1,746	1,751	1,789	1,723	1,675	1,711
去勢	28年-29年	1,742	1,719	1,710	1,755	1,754	1,742	1,760	1,754	1,760			1,744
B3	前年格差	88	26	38	52	47	25	14	3	▲29			33

群馬県食肉卸売市場上場頭数・全国と畜頭数

(単位：頭)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
27年-28年		1,085	946	907	1,151	871	1,004	1,084	1,390	1,321	966	1,009	1,091	12,825
28年-29年		1,109	778	745	903	791	974	867	1,114	1,272				8,552
前年格差		24	▲ 168	▲ 162	▲ 248	▲ 80	▲ 31	▲ 218	▲ 276	▲ 50				▲ 4,274
全国 と畜 頭数	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年	95,755	83,324	89,621	98,748	84,388	88,223	95,304	106,249	102,271	79,030	82,811	85,067	1,090,791
	28年-29年	87,263	81,394	83,538	90,633	83,592	86,545	88,445	104,062					705,472
	前年比	91.1	97.7	93.2	91.8	99.1	98.1	92.8	97.9	0.0	0.0	0.0	0.0	64.7

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 926千円平均(前月比102%)	(雌) 802千円平均(前月比102%)
②F1価格	(去勢) 486千円平均(前月比101%)	(雌) 397千円平均(前月比102%)
③乳牛素牛	(去勢) 209千円平均(前月比97%)	
1月道産肉用乳素牛取引基準価格：750円/kg(前月価格据置き)		

養豚情勢

枝肉相場関係

豚肉相場は下げる。供給過多で引き弱い。

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(B)		569	535	565	613	615	530	471	481	531	472	525	490	533
28年-29年(C)		492	560	603	557	499	526	483	508	518				527
(B-A)		16	▲47	▲56	33	67	▲18	▲46	▲88	▲78				▲36
(C-B)		▲77	25	38	▲56	▲116	▲4	12	27	▲13				▲6

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863	35,998	42,383	45,504	42,052	43,542	40,885	40,178	42,107	491,970
	28-29年	40,481	35,948	37,630	35,502	37,818	39,656	40,977	43,339	43,106				354,457
前年比(%)		97.0	96.1	95.8	86.9	105.1	93.6	90.1	103.1	99.0				72.0

肉豚生産出荷予測（全国） ※11月まで実績／12月以降の出荷予測は

12月22日付農水省畜産部食肉鶏卵課発表による

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	4月～6月	7月	8月	9月	7月～9月	10月	11月	12月	10月～12月	1月	2月	3月	1月～3月
全国出荷予測頭数(千頭)		3,985	1,250	1,327	1,359	3,936	1,372	1,462	1,508	4,342	1,417	1,377	1,464	4,258
前年同月比(%)		102	94	111	102	102	95	104	102	100	105	101	101	102

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、1月の出荷見込頭数は1,417千頭（前年同月比105%）となっている。その後は2月1,377千頭（〃101%）、3月1,464千頭（〃101%）と予想されている。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

平成29年1月190円（見込み）104%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
27年-28年(A)		227	230	223	213	219	247	250	252	255	182	209	215	227
28年-29年(B)		215	204	197	184	180	192	211	231	245				207
(B-A)		▲12	▲26	▲26	▲29	▲39	▲55	▲39	▲21	▲10				▲20
全国基金	27-28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.005	0	0	
補填	28-29年	0	0	0	6.093	7.092	0	0	0	0				

■価格動向：12月の平均単価は245円（前年同月▲10円）となった。1月は在庫滞貨で下げる見通し。
 ■出荷動向：年末年始の滞貨玉が発生するも生産調整も行われているため、荷余り感は次第に解消へ。
 ■需要動向：おでん・鍋物や、2月の恵方巻き向け需要あり。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	27-28年	2,449	1,888	2,307	1,979	1,803	1,794	2,574	2,196	2,476	2,352	2,086	2,042	25,946
実績(t)	28-29年	2,025	1,667	1,721	1,414	2,007	2,342	2,090						13,266
前年比(%)		82.7	88.3	74.6	71.5	111.3	130.5	81.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.1
餌付羽数	27-28年	7,872	8,422	8,640	8,375	7,263	8,244	8,418	7,716	8,547	7,765	8,075	8,711	98,048
(千羽)	28-29年	8,217	8,805	8,777	8,091	8,201	8,966	8,682	8,005					67,744
前年比(%)		104.4	104.5	101.6	96.6	112.9	108.8	103.1	103.7	0.0	0.0	0.0	0.0	69.1

■価格の推移

- (1) 20年度：193円 (2) 21年度：175円 (3) 22年度：194円 (4) 23年度：188円 (5) 24年度：181円 (6) 25年度：207円 (7) 26年度：216円 (8) 27年度：227円

■原料情勢

①とうもろこし(シカゴ定期)

12月9日発表の米国農務省需給見通しでは、米国とうもろこしの2015/16年産について、供給量・需要量がそれぞれ15,400百万ブッシェル(前月発表15,400百万ブッシェル)、13,662百万ブッシェル(前月発表13,662百万ブッシェル)と共に据置で見通された。

2016/17年産についても、作付面積は94.5百万エーカー、単収は175.3ブッシェル/エーカーと共に据置で見通され、供給量全体として17,013百万ブッシェル(前月発表17,013百万ブッシェル)で見通された。需要面については、輸出成約ペースは順調であるものの、今後の南米産との競争激化の見通しなどから、輸出需要が2,225百万ブッシェルと据置で見通された。全体でも前月同様、14,610百万ブッシェル(前月発表14,610百万ブッシェル)の見通し。

シカゴ定期は、12月9日発表の米国農務省需給見通しでは、好調な輸出を反映して輸出需要が上方修正されると見られていたものの、需要・供給ともに前月から変更なく、相場への影響は限定的だった。

しかし、発表後はアルゼンチンでの乾燥天候が懸念され

て、相場は再び上昇した。今後も作付時期であるアルゼンチンの天候に注視したい。

②大豆粕

12月9日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2016/17年産について先月発表から内容の変更はなく、単収が52.5ブッシェル/エーカー、供給量が4,588百万ブッシェル、需要量が4,108万ブッシェル、期末在庫が480百万ブッシェル、在庫率が11.68%であった。期末在庫は06/07年産以来の高水準となっている。

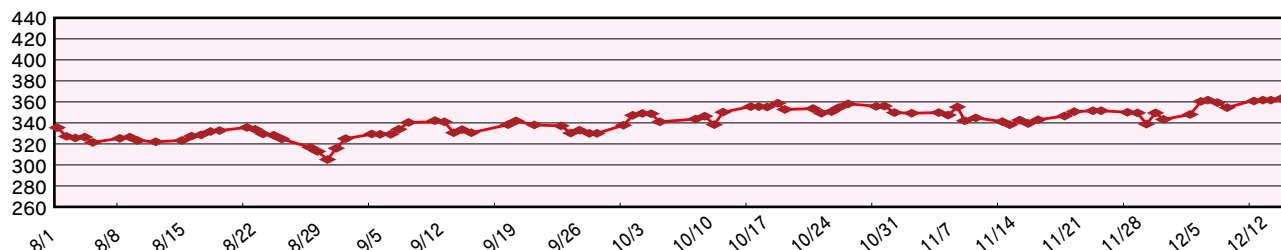
今後のシカゴ定期は、作付期・生育期を迎えた南米の天候、投機筋のポジション動向、および中国を中心とした消費国の需要動向に影響されながら推移すると見込まれる。

■海上運賃

米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、中国向け貨物輸送の引き合いによる用船料の上昇、ロシアなどのOPEC(石油輸出国機構)非加盟国も原油生産の減産に合意したことによる原油価格の上昇を受け、堅調に推移している。

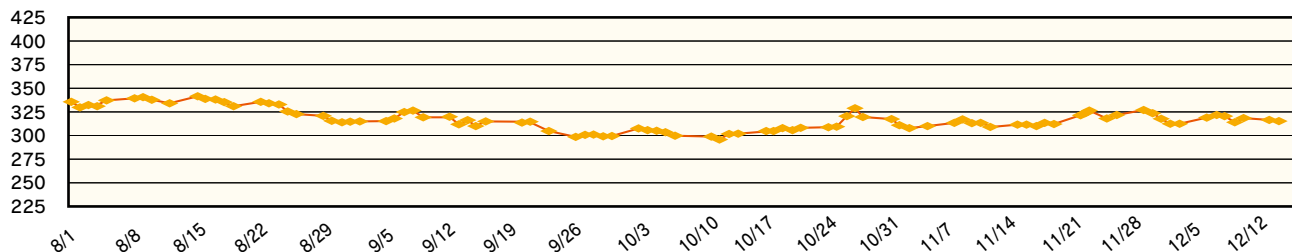
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



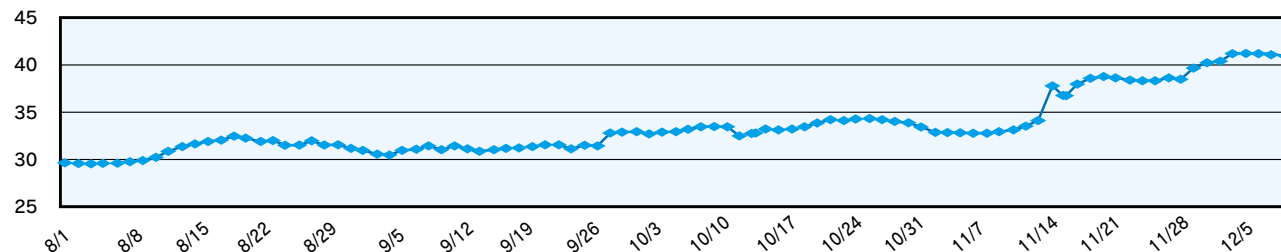
ドル/米トン

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



今年も北海道産種じゃがいもの販売の季節がやってきました！園芸資材館では男爵・キタアカリ・メークイン・とうやなどたくさんの種類を取り揃えており、規格も豊富です。また、プランター栽培にもご活用いただけるSサイズの種じゃがいもも販売を行います。ご家庭でじゃがいも作りに挑戦してみたいはいかがでしょうか。皆様のご来店心よりお待ちしております。

2月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内容
2月17日(金) ～20日(月)	春一番園芸フェア
2月18日(土)	JA農畜産物フェア 上州牛試食販売会

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。



KABOKU 花木流通センター

営業時間：年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～2月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

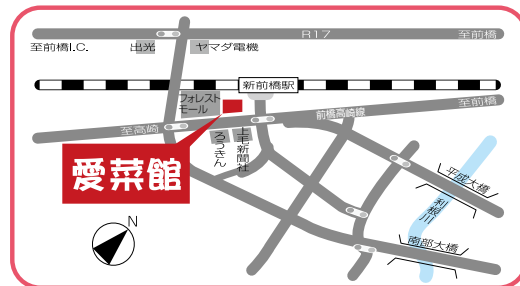
前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

ちさいひろば JA直販 愛菜館

営業時間：毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

JA全農ぐんま「県本部通信」係まで

E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



春菊のフェタチーズあえ

材 料

2人分

(1個分94cal)

春菊 100g
赤ピーマン(みじん切り) 大さじ1
ごま油 大さじ1
醤油 大さじ1弱
豆板醤 小さじ1/3
砂糖 小さじ1/2強
フェタチーズ 20g
ゆずの皮(せん切り) 少々

作り方

- 1 春菊は葉先をつまんでザルに広げ、熱湯をかける。その後、すぐに水に潜らせ水けを絞る。
- 2 フライパンにごま油を熱し、赤ピーマンを炒める。醤油・豆板醤・砂糖を加え、1の春菊にかけてあえる。
- 3 器に2を盛り、フェタチーズを散らしてゆずの皮を天盛りする。
フェタチーズをあえながら食べる。